

「詩情の画家 西田真人 一の宮をえがく展」



「繁昌」杉戸絵(伊勢神宮・内宮) 2015年



「竦々」(富山・雄山神社) 2018年

西田真人は1952(昭和27)年、神戸市兵庫区和田崎町に生まれた。小さい頃から絵が得意で、和田岬小学校、吉田中学校、県立兵庫高校に進んだ。兵庫高校は小磯良平、東山魁夷など有名な画家を輩出したことで知られ、西田は在学中に校内に掛けられた魁夷の作品を鑑賞したが、小磯作品は校長室にあって見ることができなかったという。その後、京都市立芸術大学に進み、気鋭の日本画家として声望を得た。

95(平成7)年、阪神・淡路大震災が起り、画家は被災した神戸の街に立って運命の啓示のようにスケッチし、描き上げた。そこには芸術造形の香気があり、再生を期する祈りがこめられていた。その後、西田はイギリスに取材した風景画を日展に出品して来たが、2010(同22)年から日本各地101社

の「一の宮」を描くことを目指し、巡拝の旅を始めた。重い病に襲われたこととも動機としてあった。京都芸大教授の職を退官し、円熟期にある画家は、再生の思いを胸に全国に点在する一の宮を巡り、感動した風景を作品に仕上げることを目指し、現在32社の完成を見た。日本画の技法を探究し、斬新な表現の中にも味わい深い精神世界が私たちの前に現れる。それは見る人の心を浄化する、大地に根ざした聖なる風景と言ってよい。(神戸ゆかりの美術館 館長・岡泰正)

「白山さん」(石川・白山比咩神社) 2017年



「波上宮」(沖縄) 2012年

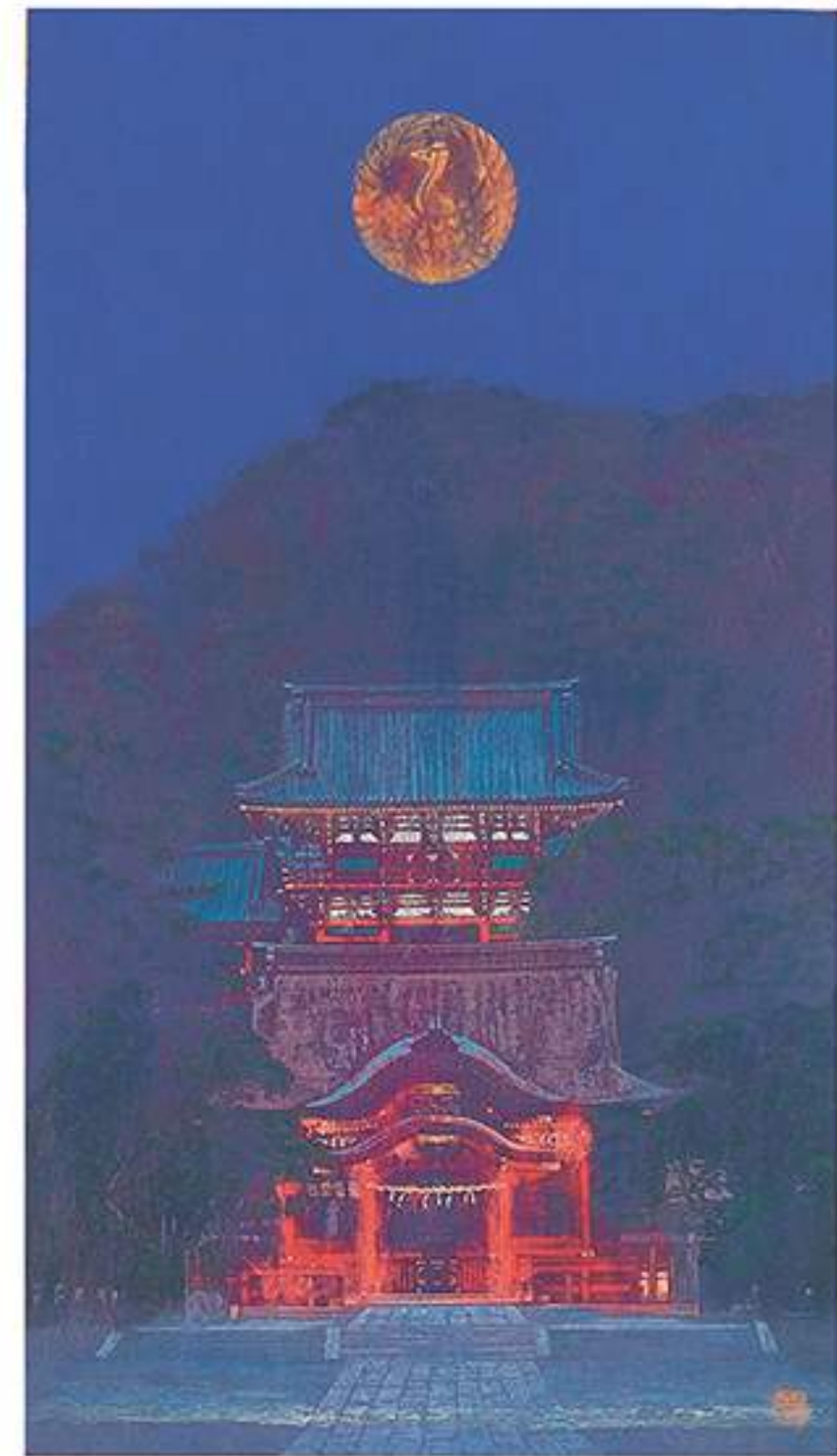
「大神神社」(写生(奈良)) 2012年



特別展「詩情の画家 西田真人 一の宮をえがく展」(一の宮をえがく展神戸実行委員会主催) 10月6日~12月9日、神戸ゆかりの美術館(神戸市東灘区向洋町中2)で開催。10~17時(入館は

16時半まで)。月曜と10月9日は休館、10月8日は開館。一般1000(800)円、大学生500(400)円、高校生以下無料。カッコ内は前売り、20人以上の団体料金。同館 ☎ 078・858・1520

巡拝の旅 心象風景



「夜鶴」(神奈川・鶴岡八幡宮) 2017年